

杉山三郎特任教授・外務大臣表彰記念特別講演会

「世界遺産を掘る：メキシコ考古学の魅力と伝統文化」

主催：愛知県立大学多文化共生研究所

共催：愛知県立大学地域連携センター

日時：7月27日（金）16：10～17：40

場所：学術文化交流センター・小ホール（2F）

講演の内容：杉山三郎特任教授（本学大学院国際文化研究科・多文化共生研究所所属）は、長年にわたり、メキシコにおけるテオティワカン遺跡（世界遺産）発掘などによる古代文明研究、学術交流、及び日本とメキシコとの友好親善に寄与した功績が称えられ、7月19日、外務大臣表彰を受賞されました。この大変名誉ある受賞を記念して特別講演会を開催します。杉山教授はこれまでもNHKの番組「プロフェッショナル」などで紹介されてきましたが、この記念講演では、30数年間にわたるメキシコでの発掘・研究成果を、多くの画像資料と共に体験談を交えて語り、研究対象であるメキシコ文化の魅力も紹介します。



テオティワカン遺跡「太陽のピラミッド」



外務大臣表彰（2012.7.19 撮影笹津理事長）



神殿の生贄体の発掘と図面作成



出土品：蛇紋石製の人物像



出土状況：黒曜石のナイフなど